

事務組織

【現状説明】 教育研究活動の支援を充実するために事務組織間の連携と職員の職能開発（スタッフ・ディベロップメント）に努めています。

共通	本学の事務組織は、法人本部に総務部、財務部及び経営企画室を置き、大学及び短期大学部事務局に教務部、学生部、連携推進部、入試広報部及び学術情報部を置いています。 大学及び短期大学部事務局は、教育研究や厚生補導、就職、国際交流、地域貢献等の学生支援体制を充実させるために3つの部署（教務部、学生部、連携推進部）を学生支援センターとして同じフロアに配置しています。学生支援センターの各部署では、中規模校である本学の特性を活かし、きめの細かい学生サービスを行い、学生満足度の向上に努めています。 各部署の業務分担と管理監督者である部長、課長、室長の職務権限については、事務分掌規程や職務権限規程等の学内規則に規定し、相互の部署が密接に連携を図りながら業務を遂行しています。また、役職者による事務職経営企画会議を定期的に開催し、部署間の情報共有を図るとともに、必要事項について協議・調整を行っています。 大学を取り巻く社会環境が変化し、各部署が担う業務が高度化、複雑化する中で、専門的知識と業務遂行能力を備えた職員を育成することは大学経営にとって重要な課題であり、本学では人材マネジメントに取り組む組織として人材戦略会議とその傘下に育成、採用、評価の各ワーキンググループを設置しています。特に育成ワーキンググループにおいては、職員の研修プログラムの体系化やその実践を行っており、一人ひとりが学内外の研修会への参加や自己啓発、OJT、プロジェクトへの参加などを通して、能力・スキル・専門性の向上を図り、個人のキャリア開発に努め、組織の成長につなげています。
----	--